11　医療保健科学部

Ⅰ　教育理念と人材育成の目的

建学の精神並びに北海道文教大学の教育理念・目的に則り、医療保健科学部は「医療における職業人としての専門知識や技能に加えて、豊かな人間性と社会性を備え、多職種連携に柔軟に対応できる高度な職業人を養成すること」を教育理念としている。哲学的思考を基盤として、医療・保健・福祉の多様な問題を総合的に把握し、データ分析・評価を行い、解決できる医療職人材、及び医療における職業人としての専門知識や技能に加えて、豊かな人間性と社会性を備え、他職種連携に柔軟に対応できる高度な職業人を養成することである。

具体的には、以下の⑴から⑹に掲げる人材育成を目標とする。

⑴　医療・保健における社会の変化に対して物事の本質を見極め、考究できる人材
⑵　文理横断的かつ学際的な知識と論理的な思考能力を基礎として、状況の変化に柔軟に適応できる人材
⑶　専門職の基盤となる知識を習得し、科学的根拠に基づいた思考と実践能力のための基本的な能力を有した人材
⑷　医療・保健にかかわる種々の問題探求・解決能力が高く、医療・保健の発展を支えることができる人材
⑸　多職種と連携・協働し、医療・保健の立場から地域社会の健康課題に貢献できる人材
⑹　グローバル化の進展を視野に入れつつ、生涯にわたって医療・保健の質向上について研究・研鑽し、発展に寄与できる人材

Ⅱ　教育課程の基本方針

学位授与方針（ディプロマポリシー）を達成するための基本方針は以下の通りである。

①　人材養成の目的と整合性のとれた教育課程の編成を行う。
②　順次性のある体系的な教育課程を編成する。
③　多様な授業方法の採用や体験的な学修活動などの充実により、教育方法の質的転換を図る。
④　シラバスの充実、充分な学修時間の確保などにより、単位制度の実質化を図る。
⑤　明確な成績評価基準に従い、教育の質保証に向けた厳正で公平な成績評価を実施する。

Ⅲ　教育課程の構成と概要

医療保健科学部の教育課程は⑴教養科目、⑵専門基礎科目、⑶専門科目から構成される。

医療保健科学部内での共通科目

1）初年次から卒業年次に至るまで「全学共通科目」、「学部共通科目（「チーム医療概論」ならびに「地域包括ケアシステム論」）」、各学科の専門科目（「専門基礎科目」と「専門科目」）の領域を設定し、各科目領域内の科目群の系統性に配慮し、順次性のある体系的な教育課程を編成する。
2）多職種と連携･協働し､医療･保健の立場から地域社会の健康課題に貢献できる人材を育成するために「チーム医療概論」と「地域包括ケアシステム論」を配置する。「チーム医療概論」を通して、看護学、理学療法学、作業療法学の連携について各職種の理念や概要を学ぶ。
3）哲学的な思考を基盤として、医療・保健・福祉の多様な問題を総合的に把握し、データ分析・評価を行うために、１年次には全学共通科目領域の「基礎科目」群に大学における学びの意味と学びのための入門科目である「総合教養講座」「キャリア入門」「キャリア形成」「情報処理リテラシー」「数理・データサイエンス・AI入門」「数理・データサイエンス・AI実践」を配置する。

専門基礎科目、専門科目については各学科・専攻で説明する。